

## 市政の



聞きました

現状は 課題は 今後は

## 一般質問

11月28日から4日間にわたり27人の議員が市政について一般質問を行いました。質問の中から関連した内容を取りまとめ、その要旨を掲載しています。

なお、議員ごとの質問の様子は、市議会ホームページで録画配信をご覧ください。



## 公共施設管理

## 公共施設再編の取り組み

問

少子高齢化・人口減少が進む中、公共施設の再編はしっかりと取り組まなければならぬと考える。これまでの市の取り組みの成果について聞きたい。

答

戸吹湯ったり館等の廃止のほか、新たなニーズに対応するため、市民部事務所への福祉機能の複合化や、横山事務所の機能一部移転により生み出したスペースの活用など、施設の有効活用を進め、財政負担縮減を図ってきた。



旧横山学童保育所に旧横山事務所の機能を一部移転したデジタルフロントスポット長房

問

公共施設の再編は停滞しているように感じるが、推

進するための取り組みは。

答

現在、南大沢・北野駅周辺・八王子駅周辺の3つのエリアにおいて、サービスや機能、施設のあり方など、共通する課題の解消を図るため、全庁的な体制で検討を進めている。また、公共施設等総合管理計画を改定し、再編をより強力に推進できる仕組みへ見直すことを予定している。



問

本市で最も多い公共施設が小・中学校であり、行財政改革として統廃合は避けては通れないと考えるが、なかなか進んでいない。例えば、学校と事務所を併せて統廃合するなど、合理的な公共施設の再編を進めてはどうか。

答

公共施設等総合管理計画では、改修や更新の際、多機能化や複合化による施設再編を必須の検討事項としている。今後は、従来の組織の枠を超えて柔軟に検討できるよう体制を強化するほか、9年度からの後期経営計画において、前期計画の効果検証を踏まえ、さらなる行財政改革の

取り組みを進めていく。

問

公共施設の老朽化に伴い、今後、学校を中心とした建て替え等が本格化すると考える。報道等によると建設コストが上昇し、全国的に入札不調により事業が停滞している状況があり、市の財政にも大きな影響があるため、今後どのように取り組むのか。

答

入札制度の見直しや発注時期の平準化など、事業者との意見交換を行い、入札に参加しやすい環境づくりに取り組んでいる。今後も、公共施設等総合管理計画などに基き、改修や更新を計画的に進めるとともに、人口動態や地域特性を踏まえた施設の再編を推進し、長期的な視点を持って、持続可能な公共サービスの確保に努めていく。

## 行財政改革

## 受益者負担の適正化を

問

受益者負担の適正化は、将来世代に負担を残さないために大変重要と考える。近年の物価高などにより、利用料金の算定基礎となる原価と現行料金に差異が生じている公共施設が見受けられるが、

今後の見直しをどのように進めていくのか。

答

7年度は行政コストの適正性を確認するため、各事業をゼロベースで見直す総点検を実施し、改定に向けた準備を整えた。原価と現行料金の差が2割を超えている使用料が約85%あり、今後速やかに適正化に向けた料金改定を実施する必要があると考えている。行政サービスを利用する人としらない人の負担の公平性確保に努めていく。



問

公平な受益者負担は、未来の財政を守るために欠かせない。今後も物価上昇が続く可能性があり、現行料金と適正価格の乖離を是正しなくてはならないと考えるが、市の見解は。

答

現状では、全体的に受益者負担より公費負担の割合が大きくなっている。限られた経営資源の効果・効率的な活用は不可欠であり、将来世代に負担を先送りしないためにも、機を逸することなく適正化を進めていく。